

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 111

学校名・団体名	美郷町立美郷南学園
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	へき地校におけるキャリア教育推進と伝統文化の継承

〈活動・研究の意義および活動報告〉

[研究の目的・意義]

美郷町の南郷地区に伝わる伝統芸能を理解し、神楽保存会や婦人会の協力を得ながら小学校5年生から中学校3年生までの43人が、「神門神社子供神楽」、「いだごろ盆踊り」、「ひえちぎり踊り」等を継承し、運動会や伝統的な祭などで地域や保護者に披露する。また、伝統芸能等に従事する著名な方々を招聘し、伝統文化やキャリア教育についての講演会等を開催し、日本の伝統芸能のすばらしさ等に触れること等を通して、児童生徒それぞれが自分の将来について真剣に考える機会とし、主に次のような能力を育成する。

- ◇伝統文化について
- ◇郷土愛について
- ◇未来の美郷町の発展について
- ◇将来や進路を考える力
- ◇自己実現への意欲的な態度
- ◇自分について考え理解する力
- ◇自分を大切にする態度
- ◇他者について思いやる態度
- ◇人と接するコミュニケーションの力
- ◇基本的な生活習慣
- ◇社会的なモラルやマナー
- ◇学ぶことの大切さの理解
- ◇学習への意欲の向上

[地域の行事（祭）への積極的な参加]



校区内には、4つの神社（神門神社、鬼神野神社、渡川神社、水清谷神社）があり、毎年秋になると、それぞれの神社で大祭が開催されます。子どもたちは、地域の方々の指導を受けながら、それぞれの立場で役割を担い、祭に参加しています。本年度も会場となる神社周辺を清めるための清掃をし、臼太鼓踊り、神楽、浦安の舞などを地域の方々や来場された方々に披露することができました。また、本年度は、幼稚園児が臼太鼓の練習に励み、大人や中学生と一緒に頑張っていました。中山間地にある美郷町では、人口減少が課題でもありますが、園児・児童・生徒たちには、地域の伝統的な祭などの行事を大切にし、継承しようとする気持ちが高まっています。

[キャリア教育講演会Ⅰ]



12月10日に、キャリア教育講演会Ⅰを開催いたしました。講師に、三重県より大嶋啓介氏をお招きし、地域のすばらしさを理解し伝えていくことは大変重要であることを大嶋さんのこれまで経験からしっかり学ぶことができました。特に、美郷南学園の子どもたちが、特別の教科（美郷科）に力を入れて取り組んでいる「ふるさと学習」に興味を示され、

幼小中の10年間のつながりのある学習で培った郷土愛が、今後の人生の基盤になっていくことを強調されました。

[キャリア教育講演会Ⅱ]



12月25日・26日に、地域の人材（6名）を活用したキャリア教育シンポジウム、食育シンポジウムを開催いたしました。講師に、漫画家、教育コーディネーター、林業（山師）、ワールドピースゲーム主宰者、野菜ソムリエ、宮崎牛生産者の6名の方々をお招きし、①働くことの意義について、②これからのキャリアの考え方について、③仕事を創るためには、④野菜（地域食材）の魅力、⑤ブランド牛について、⑥地域の魅力について、の6つの視点で話を進めました。子どもたちも、事前に調査した「自分たちの住む美郷町の未来について」をもとに積極的に発表し、気になることを質問など積極的に学ぼうとする姿が見られました。

[能のワークショップ]

2月19日、東京都より宝生流能楽師シテ方の佐野登さんを講師にお招きし、全校音楽（111名）で能のワークショップを開催いたしました。子どもたちは、地域に伝わる伝統芸能の神楽などは実際に舞ったり、鑑賞したりすることはありますが、能についてはほとんどの子どもたちが初体験という貴重な時間となりました。音楽科の目標にもある音楽文化についての理解を深めること（我が国の伝統音楽の理解）を目的に、能の文化や歴史、所作や小道具についても詳しく学ぶことができました。特に、中学校音楽教科書にある「羽衣」を全員で音読したり、実際に佐野さんの舞を鑑賞できたことで、最小限の動きや音で無限を表現する本物の能に触れることができたと感じました。



《 成 果 》

- 1 郷土に伝わる伝統芸能について学習し、理解することで郷土愛が芽生え、長い間、郷土に口伝で大切に守られてきた大人たちを尊敬し誇りに思う気持ちが高まった。
- 2 実際に「神楽」「臼太鼓」「いだご踊り」を地域の方々と練習し、運動会や文化祭、地域の行事や祭、美郷町子ども議会で積極的に発表することができた。
- 3 地域の神楽保存会や地域婦人会と連携した交流学习を計画的に進めることができた。
- 4 キャリア教育講演会やシンポジウムを通して、身近な地域や地域の伝統、他地域他国の伝統・文化を理解し誇りに思い、自国の伝統や文化を世界に発信したり、互いに文化交流できる資質や能力の基盤を築くことができた。
- 5 自ら課題を見つけ、自ら学び・考え、主体的に判断しようとする資質や能力、人と積極的に関わろうとする人間関係能力を育む機会となった。
- 6 自己の生き方を考えるよい機会となった。